

# 森づくり最前線

利根沼田森林管理署 谷地森林事務所 佐藤さつき

私が勤務する谷地森林事務所は、群馬県北東部に位置する川場村と沼田市の一部にある4,720haの国有林を管理しています。

森林事務所が所在する川場村は、武尊山の南麓に広がり総面積の約83%が森林を占める自然が豊かな農山村です。川場という村名は薄根川、桜川、溝又川、田沢川の4つの1級河川が流れており、川が多いことに由来するといわれています。川場村にある通称「田園プラザ」という道の駅は、関東エリアで好きな道の駅ランキングで1位となるほど人気があり、毎日多くの観光客が訪れています。

管内国有林にはトレイルランニングのコースが整備されており、毎年「上州武尊山スカイビュートレイル」が開催されています。新型コロナウイルスの影響でここ数年開催されていませんでしたが、今年は3年ぶりに開催される予定です。このコースにもなっている雨乞山は、登山道の勾配が緩やかなため家族でハイキングを楽しむには最適です。また、山頂には展望台があり、日本一美しいとも言われる沼田の河岸段丘を一望できます。

川場村と利根沼田森林管理署の間で令和2年度に森林整備推進協定を締結しており、昨年度は技術交流会を開催しました。技術交流会では、ドローンと背負式地上型レーザ計測機を活用した森林情報の収集の実演と分析手法を紹介し、意見交換を行いました。ドローンで撮影した写真をオルソ画像に補正し3D化することで、地形や面積算出、さらに樹木の本数などが判別可能となります。この結果を検証したところ、細い樹木が計測しにくい傾向があることがわかりました。

また、他の森林事務所等と同様に当森林事務所管内でもシカの生息密度が増加しているため、植栽した苗木の食害対策として忌避剤の散布を実施しています。従来の作業は1本1本手で散布をしていましたが、省力化等の観点から、令和2年よりドローンを用いた空中散布の実証実験をしています。

今後もドローン等のICTを積極的に活用し、森林管理の省力化に取り組むとともに、地域の関係機関や地元団体と連携しながら森林整備を進めていきたいと考えています。



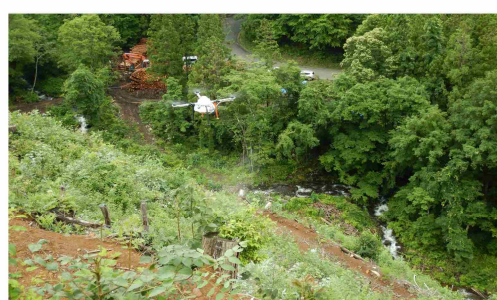
▲ 武尊山山頂から



▲ 技術交流会



▲ 雨乞山から



▲ ドローンによる忌避剤の空中散布